

市民社会をつくる  
ボランティアフォーラム  
TOKYO 2011

日時

2011年2月11日(金・祝)～13日(日)

場所

飯田橋セントラルプラザ ほか

わたしたち

# 市民が創る公共

～紡ぎあう地域の絆～

東京ボランティア・市民活動センター

TEL: 03-3235-1171

FAX: 03-3235-0050

<http://www.tvac.or.jp>

主催：東京ボランティア・市民活動センター

企画運営：市民社会をつくるボランティアフォーラム

TOKYO 2011 実行委員会

後援：東京都



# 「市民社会をつくるボランティアフォーラム TOKYO 2011」趣旨文

ボランティア活動や市民活動に関心のある方々、また実際に取り組んでいる方々を対象に、「市民社会をつくるボランティアフォーラム TOKYO 2011」を開催いたします。

「ボランティアフォーラム」は、現代社会における多様な問題を、多くの市民、参加者が共有し、一緒に考えるためのイベントです。東京ボランティア・市民活動センターが主催し、さまざまな団体の参加と協力を得て組織される実行委員会の企画・運営により、東京のみならず、毎年多くの方々にご参加いただいています。

フォーラムでは、急速に変化する現代社会が抱える諸問題に焦点をあてます。生き方や価値観が多様化し、人と人とのつながりが薄れた「無縁社会」であるともいわれるいま、社会の制度や仕組み、労働、教育、環境、家族、人権など、さまざまな要素が複雑に絡まりあって、私たち市民に課題を突きつけています。

ボランティアグループやNPOをはじめとした“市民活動”は、社会生活で生み出される課題を敏感に捉えています。そしてそこには、課題解決に向け自ら考え行動する主体としての市民の姿があります。社会の波に飲まれるだけではなく、成熟した社会を目指す試みも次々に生まれてきています。

そこで今回のフォーラムでは、「市民が創る公共～紡ぎあう地域の絆～」をテーマに掲げます。そのテーマの下、「社会に必要な仕組み」、「地域とのつながり」、「育ちあう市民」、「ボランタリズム」の4つのカテゴリーを設け、それぞれにテーマ性を持った複数の分科会を用意しています。参加者のみなさんの声、考えを大切に、企業や行政との協働も意識しながら、誰もが参加できる“市民社会”、“市民活動”を考える機会にしていきたいと考えています。

## スケジュール (飯田橋セントラルプラザ 10階、12階会議室(⑦「NPOと自治体のパートナーシップ」を除く))

2月11日(金・祝)	午後Ⅰ	②⑦ オープニングプログラム 市民が創る公共～紡ぎあう地域の絆～ 13:00-13:45					
	午後Ⅱ	① 厳罰化社会からの 転換 14:00-16:00	② 「意志あるおカネ」 の活かし方 14:00-17:00	⑧ 「貧困」を乗り越 える市民のチカラ 14:00-17:30	⑨ 地域で孤立しな い、させないた めに 14:30-17:30	⑩ 若者による多様な Work Style 14:30-16:30	⑫ 地域で生きる 14:00-17:30
	夜間	③ 犯罪被害者家族に も希望の光を 17:00-19:00					
2月12日(土)	午前	⑪ 自転車をつくるサ ステイナブルな都 市生活Ⅰ 10:00-12:30	⑩ 虐待のない地域を 目指して 9:30-12:00	⑬ 「ボランティア =? ??」 10:00-12:00	⑭ ボランティア活動 が生み出す効果・ 意義を可視化する パートⅡ 10:00-16:00	⑮ いくつかのワラジを はいている! ? 10:00-12:00	⑯ 災害から我が子を 守る 10:00-12:30
	午後	⑫ 自転車をつくるサ ステイナブルな都 市生活Ⅱ 13:30-17:00	⑬ 人がつくる人の居 場所 13:00-16:00	⑭ スローライフー循 環する庭づくり 13:30-15:30		⑰ 育ちあう中学生の 可能性 14:00-17:00	
	夜間	⑮ ボランティア活動 ～私にもたらした 変化～ 17:00-19:30					
2月13日(日)	午前	⑱ 学生×ボランティ ア活動を概念化 10:00-12:00	⑲ NO VOLUNTEER NO FUTURE 10:00-13:00				⑳ 協同労働の仕事 おこしワークショ ップ 10:30-16:00
	午後Ⅰ	⑤ パブリックアクセ ス制度を知ってい ますか? 13:00-15:00	⑥ 育ち・育てのナシ ヨナルミニマム 13:00-15:30	⑲ 連携することの 大切さ 13:00-16:00	⑳ ボランティア憲章をつくら う! 13:00-16:00		
	午後Ⅱ	㉑ クローキング全体 会 16:30-18:00					
	夜間	㉒ 交流会 18:15～					

- ⑦ 「『新しい公共』のためのNPOと自治体のパートナーシップとは?」は、12日13:00-16:00、都内会場にて開催予定です。
- ⑩ 「メールアート展覧会」、⑪ 「『みんなの公共』MAP」(11～13日)、⑬ 「Forum Open Space Cafe」(12、13日11:00-16:00)、⑭ 「『想いをかたちに』出会いの広場」(12、13日11:30-13:30)はセントラルプラザ10階ロビーにて開催予定です。
- ⑮ 「ふれあい満点市場」(12日10:00-17:00)は、セントラルプラザ1階区境ホールにて開催予定です。

# 第1 カテゴリー 「社会に必要な仕組み」

私たちが生きるこの社会には、様々な問題が存在しています。この問題を解決するためには、私たち市民が新たな仕組みや制度をつくったり、これまであった仕組みや制度を今にあったものに変えたりしていく必要があります。

このカテゴリーでは、それぞれのテーマについて市民一人ひとりがしあわせに生きるために、今必要な仕組みや制度について考えます。

※各分科会の会場は特に記載のない場合、飯田橋セントラルプラザ会議室です。



講義  
+  
話し合い

## ① 厳罰化社会からの転換

～誰もが生きやすい、「寛容」な社会を目指して～

生きにくい社会だと言われます。犯罪への対処のあり方を見ても明らかです。犯罪に対して厳しい刑罰で臨む厳罰化が進んでいます。しかし、厳罰化により社会は良くなるのか。軽微な事が犯罪とされ刑務所に入れられる、むしろ生きにくい社会になることはないのか。誰もが生きやすい「寛容」な社会について、「犯罪への社会の取組み」から考えます。

日時：2月11日(金・祝) 14:00～16:00

定員：30名

出演：浜井浩一さん(龍谷大学大学院法務研究科教授)  
古畑恒雄さん(更生保護法人更新会理事長/弁護士)  
稲葉 剛さん(NPO法人自立生活サポートセンター・もやい理事長)

おすすめ：関心のある方ならどなたでも

講座形式：講義+話し合い

講義  
+  
話し合い

## ② 「意志あるおカネ」の活かし方

—市民ファンド・市民金融のいまとこれから—

組織の4大要素であるヒト・モノ・カネ・情報—。それらを最大限に活かし、資金の出し手と受け手の思いによって紡ぎあう資金循環の仕組みがあることをご存知ですか？

—「私のおカネを社会のために役立てて欲しい。」

—「賛同者からいただいたおカネを大切に使いたい。」

この分科会では、助成金と融資制度を切り口に、市民ファンドやNPOバンクの実例から、地域社会の課題解決を促す「意志あるおカネ」の循環について考えます。

日時：2月11日(金・祝) 14:00～17:00

定員：30名

出演：水谷衣里さん(三菱リサーチ&コンサルティング株式会社)  
奥田裕之さん(NPOまちぼっと 事務局)

おすすめ：市民活動を支えるおカネの流れに関心のある人、自分のおカネが、預けた先でどのように使われているのかに関心がある人

講座形式：講義+話し合い

講義  
+  
話し合い

## ③ 犯罪加害者家族にも希望の光を

～仙台で始まった新たな取り組み～

犯罪加害者家族のサポート活動が仙台でスタートしました。犯罪加害者家族に関する実態調査をする中で、その苦悩が浮き彫りになったのです。事件後のバッシングだけでなく家族はDVなどの被害に遭っているケースも多く、事件前から切実な問題を抱えているのです。

今回の分科会では、加害者家族＝(多くの問題や悩みを抱えた)弱者との視点から、仙台の「ワールドオープンハート」の活動を通してわたしたちに何が出来るのかを考えていきます。

日時：2月11日(金・祝) 17:00～19:00

定員：30名

出演：阿部恭子さん(人権NPO ワールド・オープンハート代表)ほか交渉中

おすすめ：更生保護など刑事司法にかかわる人たち。新たなボランティア活動を模索している方々およびこの取り組みに関心がある全ての方々

講座形式：講義+話し合い

講義  
+  
話し合い

## ④ あたらしい公共を創る

### 市民スタイル

～協同労働の仕事おこしワークショップ～

地域が抱える様々な課題を、仕事を通して、地域で助け合って解決し、さらに市民の主体性、生きがいが生まれる働き方をご存知ですか？

この分科会では、市民が主人公となって地域に必要な「仕事おこし」をしていく「協同労働」という働き方を紹介します。

ワークショップでは皆さんと一緒に地域の様々な「仕事おこし」を考えて、より良いまちづくりに向けて語り合しましょう。

日時：2月13日(日) 10:30～16:00

定員：35名

出演：ワーカーズコープの実践現場で活躍する人(選定中)  
おすすめ：まちづくりや仕事おこし・協同労働に関心のある方、仕事をさがしている人

講座形式：講義+話し合い

講義中心

5

## パブリックアクセス制度を知っていますか？

～メディアを変えることで、社会を変えよう～

どんなに素晴らしい活動をしていても支援者が増えない。どんなにまじめに政策提言していてもマスコミに無視されてしまう。そんな経験はありませんか？力のある海外のNPOやNGOに比べて、何で日本の市民活動はこんなに力がないのか。メディア政策の側面から海外と比較し、市民社会を豊かにしていくための、メディアの在り方を考えます。

日時：2月13日(日) 13:00～15:00

定員：30名

出演：白石 草さん (NPO法人OurPlanetTV代表理事)  
日隅一雄さん (NPJ編集長/弁護士)

おすすめ：情報発信に力を入れたいと考えている個人・市民グループ・NPO・NGO、なんだか日本のメディアって変じゃない？と思っている人

講座形式：講義中心

話し合い中心

6

## 育ち・育てのナショナルミニマム

—どの子どもも健やかに育つための最低基準を考えよう—

どの子どもも愛され、大切にされる、そんな社会を実現するために、育ち・育てについて、もっと市民レベルで語り合い、もっと社会全体で子育てを担い、楽しもうではありませんか。

この分科会では、事前に日向ぼっこの勉強会で作成

した「育ち・育てのナショナルミニマム」を叩き台に参加者の皆さんと育ち・育てに関して語りたいと思います。

日時：2月13日(日) 13:00～15:30

定員：30名

出演：渡井さゆりさん (NPO法人 社会的養護の当事者参加推進団体 日向ぼっこ 理事長 兼 当事者相談員)

おすすめ：子育て中の方、子育てに関心のある方、子育てと日ごろ無縁の方

講座形式：話し合い中心

講義

7

## 「新しい公共」のためのNPOと自治体のパートナーシップとは？

「新しい公共」への関心とともに、協働のパートナーとして、また公共サービスの担い手としてのNPOのあり方が問われています。下請け化しないための組織の自律性と、政府・自治体との間の協約および協働契約が問われる中、これからのNPOと自治体のパートナーシップのあり方について考えます。

日時：2月12日(土) 13:00～16:00

会場：未定

定員：100名

おすすめ：関心のある方ならどなたでも

講座形式：講義

# 第2 カテゴリー 「地域とのつながり」

「無縁社会」という言葉で表現されるほど、かつて存在した地域社会のつながりはなくなりつつあり、社会から孤立する人も増えています。こうした状況の中、地域における「つながり」は、どのように紡ぎあえばいいのでしょうか？

このカテゴリーでは、こんにち地域が抱えている課題へアプローチしている多様な地域の取り組みについて、皆さんと一緒に考えていきたいと思ひます。

※各分科会の会場は特に記載のない場合、飯田橋セントラルプラザ会議室です。



講義+話し合い

8

## 「貧困」を乗り越える市民のチカラ

—新たなつながりを考える—ダッカ (バングラディッシュ) と新宿を訪ねて見えたこと

途上国と日本の貧困、背景は違うようにも見えますが、「くらし」の場を通してみると共通の課題も見えてきます。その中で、私たち市民にはなにができるのでしょうか。

「人と人」「人と地域」「人と社会」とのつながりをテーマに、ダッカと新宿の現場を訪ねて見えてきたことが

ら、貧困を乗り越える道を考えます。

この企画は、市民活動団体「シャプラニール」「スープの会」「開発教育協会」の共同による連続3回シリーズ企画の最終回にあたります。シリーズ1、2に参加した方々の実体験の発表をもとに、フォーラム参加者全員でディスカッションを展開します。

日時：2月11日(金) 14:00～17:30

定員：40名

おすすめ：関心のある方ならどなたでも

講座形式：講義+話し合い



## オプション企画 「ダッカと新宿の現場から考えるシリーズ 参加者交流会」

これまでのシリーズを振り返り自由に気楽に話しましょう（軽食付き）。

※本オプション企画への参加については、フォーラム参加費（1,000円）に加え、別途追加料金1,000円がかかります。

講義  
+  
話し合い

### 9 「縁」をつくり、地域で 孤立しない、させないために

「無縁社会」「孤立死」など、かつてあったはずの地域や家族・親類との「縁」を失ってしまったことによって浮かび上がってきた他者との関り合いの希薄さ。

日々の生活の中で、未然に防げることは多くあるはず。人との「縁」を作ることの大切さや人々が支え合っていくことのできる環境を作ることの大切さ、そのための工夫を住民福祉総合研究所で所長をされている木原孝久さんにお話ししていただきます。

日時：2月11日（金）14：30～17：30

定員：30名

出演：木原孝久さん（住民福祉総合研究所 所長）

おすすめ：高齢者の支援をしている人、地域住民、自治会関係者など興味のある方

講座形式：講義+話し合い

講義  
+  
話し合い

### 10 虐待のない地域を目指して ～子どもの笑顔を守るために私たちが できること～

以前から社会問題になっている子どもの虐待。法律や制度があってもなかなか改善していかない現実があるように感じられている方は多いのではないのでしょうか？ 最近も数多くの虐待のニュースが飛び交っています。今ある法律や制度が機能することも重要ですが、それ以外でも「地域にいる自分達が取り組めることがあるのでは！！」というところを皆さんと話し合っていきたいと思います。実際に自分達で動きかけようと立ち上がった方達の話をお聞きし、どのような取り組みをしていけるかを考えて行きましょう。

日時：2月12日（土）9：30～12：00

定員：30名

出演：mixi「子どもを守る目」コミュ 小林玲子さん  
NPO法人子育てネットワーク・ピッコロ 代表理事 小俣みどりさん  
NPO法人でんでん子ども応援隊 理事長 豊原きよみさん

おすすめ：関心のある方ならどなたでも

講座形式：講義+話し合い

講義中心

11

## 自転車をつくる サステイナブルな都市生活 2011 ～そのⅠ：自転車活用を一層すすめるために～

自転車に対する関心が高まりを見せています。

温室効果ガスを排出しないこと、健康増進作用があることのほか、人と人との交流を生み出し、地域を活性化する要素などが注目されるようになってきました。他方、放置自転車問題や自転車の交通事故関与率の増加、マナーなどの課題が依然横たわっています。

本分科会では、こうした課題を乗り越え、自転車の有用性に着目し、地域における自転車活用の取り組み事例を検証しながら、自転車が効果的に活用されるまちづくりを考えます。

日時：2月12日（土）10：00～12：30

定員：30名

おすすめ：まちづくりを中心とした活動をしている方、自転車に興味のある方でNPO・市民活動になじみの無い方、その他、関心のある方ならどなたでも

講座形式：講義中心

体験

12

## 自転車をつくる サステイナブルな都市生活 2011 ～そのⅡ：地域を再発見するポタリング～

自転車のスピードだからこそ見えてくる風景、人のいとなみ。

「ポタリング」とは、散歩感覚で自転車に乗って周囲を散策することです。会場周辺をポタリングする中での体験を通じて、自転車活用をすすめるための取り組みについて考えます。

※ポタリングに使用する自転車は、レンタルサイクルの利用を検討していますが、お持ちの自転車を持ち込んでの参加も可能です。なお、ヘルメットか帽子を各自ご用意ください。

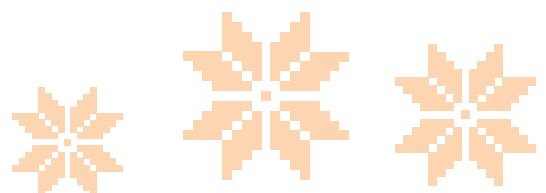
日時：2月12日（土）13：30～17：00

会場：飯田橋近辺

定員：10名

おすすめ：まちづくりを中心とした活動をしている方、自転車に興味のある方で、NPO・市民活動になじみの無い方、その他、関心のある方ならどなたでも

講座形式：体験



講義  
+  
話し合い

## 13 人がつくる人の居場所

「孤立」「無縁社会」がキーワードとなった現在、地域で「居場所をつくりたい」という声が増えています。同時に「どうしたら居場所がつかれるか？」という声も。場所や資金などに目を向けがちですが、ここで着目するのは「人」。きっかけや、活動を続けるモチベーションなど、地域で活動している方の"プロセス"を伺います。人が人を呼ぶプロセスから「つくりたい」を「つくる」につなげるヒントをつかみます。

日時：2月12日(土) 13:00～16:00

定員：30名

出演：佐藤美千代さん（日野市「まちの生ごみ活かし隊」代表）

おすすめ：地域で居場所づくりをしたい人や居場所づくりに興味がある人など

講座形式：講義+話し合い

講義中心

## 14 循環する庭づくり ～スローライフを楽しむ～

毎日の暮らしに慈しみを感じ、時間をかけ、手間をかける暮らしが見直されています。自分らしさに重きを置き、既製品にとらわれないスローライフ。そんな暮らしを取り入れる方法のひとつに“ナチュラルガーデニング”があります。

雨水を植木の水やりに利用したり、生ゴミ（元々は野菜）を土に返し堆肥に変えたりと、ひと手間加えることで循環生活が実現できます。自然と向き合うことで、自分らしい生活や本来のスピードを取り戻す時間

が生まれます。

ベランダやお庭でのガーデニングを通して、スローライフを楽しむ方法についてお話しします。

日時：2月12日(土) 13:30～15:30

定員：30名

出演：有村陽子さん（緑の便利屋 サニードロップス代表）

おすすめ：関心のある方ならどなたでも

講座形式：講義中心

講義  
+  
話し合い  
+  
体験

## 15 子育て中だからこそ参加しよう！ 災害から我が子を守る 「地域社会とのつながり」づくり

大地震が起こったら…「幼い我が子を抱えてどうしよう」。そんなママ・パパも多いはず。大災害発生直後は、行政機関の十分な災害対策を受けられないことが想定されます。そんな時に必要なのは何といっても地域の人たちとの助け合いです！

この分科会では、子育て世代が参加している地域における防災活動の取り組み事例を参考に、子育て世代と地域社会とのつながりについて参加者の皆さまと一緒に考えたいと思います。親子でできる防災かっぱづくり体験！もありますので、ご家族でご参加ください。

日時：2月12日(土) 10:00～12:30

定員：20名

出演：子育て世代を巻き込んで防災活動を行っているボランティア・NPO団体

おすすめ：子育て中のママ・パパ（お子さんも一緒にどうぞ）ほか、子育て支援者、関心のある方ならどなたでも

講座形式：講義+話し合い+体験

# 第3 カテゴリー 「育ちあう市民」

私たちは今、「無縁社会」という言葉が飛び交う時代に生きています。孤立した生活を送る高齢者の増加、地域活動の担い手の衰退、周囲への無関心。今は関係ないと思っても、いざ自分の身に何か起きた時周りには誰もいない、という状況にみまわれる可能性が少なくないといっても過言ではありません。そんな今だからこそ、地域や私たち一人一人の「関わる力」が必要になるのです。

「関わる力」の多様化、「育ちあえる社会」の実現に向けて、その一歩を踏み出せる取り組みやきっかけを共に考えます。

※各分科会の会場は特に記載のない場合、飯田橋セントラルプラザ会議室です



講義  
+  
話し合い

## 16 若者による多様な Work Style ～ NPO 法人編～

この分科会では、多様な形態で社会に貢献している「NPO法人」に就職した新人職員の方に、それぞ

れ就職に至った経緯や、普段の活動、今の気持ちなどをお話ししていただきます。NPO法人に興味のある方、これから就職活動を始める方、就職活動に疑問を持たれている方、魅力のある就職先が見つからない方へ、普段あまり話を聞く機会のない若い視点から見たNPO法人職員のお話で、新たな視点や発見のきっか

けになればと思います。

日時：2月11日(金・祝) 14:30～16:30

定員：30名

出演：調整中

おすすめ：世代を問わず、関心のある方ならどなたでも

講座形式：講義+話し合い

講義  
+  
話し合い

## 17 いくつかのワラジを履いている!?

様々な市民活動や地域活動があります。活動者の顔を見ると「知った顔」をよく見うけることってありませんか。どこにいても同じ顔ぶれは、「担い手の固定化」という課題とされ、「課題＝マイナスの問題＝解決しなければいけない」というイメージで捉えがちです。

しかし、それは「マイナスの問題」なのでしょう。

そこで、参加者の皆さんと意見交換をしながら、「プラスの効果」と私たちが目指す「育ちあう市民」を描いてみたいと思います。

日時：2月12日(土) 10:00～12:00

定員：30名

出演：調整中

おすすめ：ボランティア団体等地域の活動者、中間支援組織のスタッフほか、関心のある方ならどなたでも

講座形式：講義+話し合い

話し合い  
中心

## 18 育ちあう中学生の可能性

練馬区立開進第二中学校の2年生は、「総合的な学習の時間」で、この春から「福祉・ボランティア」をテーマにした学習を行い、9月にはボランティア体験をし、まとめに取り組みました。

中学生・保護者が体験活動した事例をもとに、市民としての中学生の可能性を参加者の皆さんと考えませんか。

日時：2月12日(土) 14:00～17:00

定員：30名

出演：調整中

おすすめ：中学生の保護者。その他教育関係者、中学生など、興味のある方。

講座形式：話し合い中心

話し合い  
中心

## 19 学生×ボランティア活動の概念化能力を考える

～若者だからこそその「なう」な思いアウトプット～

ボランティア活動していて、「なぜ自分は活動を続けているのだろうか」「ボランティア活動の魅力ってなんだろうか」といったモヤモヤした余韻が残ったことはありませんか？ この分科会では、ひとつひとつ

のボランティア活動の経験を整理し、「楽しい」や「嬉しい」といった達成感から一歩先に進んだ「気づき」や「実践」について学生自身で話し合い考えます。

日時：2月13日(日) 10:00～12:00

定員：30名

出演：調整中

協力：SVnet（ボランティアをする学生を支援するネットワーク）

おすすめ：ボランティアをしている高校生以上の学生

講座形式：話し合い中心

講義  
話し合い

## 20 NO VOLUNTEER NO FUTURE ～高校生のアイデンティティー～

この分科会は、高校生の自由な発想で取り組んだボランティア活動や社会課題への思いと気づきを発信する場です。これまで、仲間と共に考え、企画を練って準備してきました。分科会では、高校生の発表をもとに、参加者が一緒に学び合える場を作っていきます。あふれるエネルギーとともに高校生が自らの言葉で伝えるメッセージを受けとめてみませんか！！

日時：2月13日(日) 10:00～13:00

定員：30名

出演：調整中

おすすめ：関心のある方ならどなたでも

講座形式：講義+話し合い

講義  
話し合い

## 21 連携することの大切さ ～心を聴くボランティアとして～

精神障害者への支援によって再発する率が36%であるが、さらに家族の支援も行うと再発する率が13%に下がるということから、本人への支援も大事だが、家族やケアをする人たちへの支援も必要である、と言われていています。ボランティアでも対応できるアウトリーチ（訪問支援）についてどんなものがあるのか、など話し合いを行い、対応できるボランティア活動をお互い見つけて、今後の実践活動に生かしていただきたい…ということで実施します。昨年のフォーラムで傾聴講座でロールプレイによる実践講座を開き、傾聴が支援の基本であることを学んできましたが、訪問支援でもこの傾聴が大切な基本の基であることに変わりはないことから、傾聴についてさらに考えて行きます。

日時：2月13日(日) 13:00～16:00

定員：30名

出演：池田洋子さん（東京都精神保健福祉ボランティア連絡協議会 副会長、調布市 スペースクッション 代表）

おすすめ：精神保健福祉活動しているボランティアの方、家族の方、訪問看護ステーション・病院のソーシャルワーカー

講座形式：講義+話し合い



## 第4 カテゴリー 「ボランティアズム」

—「ボランティア」の使われ方が変だと感じる。—  
今、ボランティアの本質が、見失われている気がします。  
ボランティア活動を行う市民の力は、安価な労働力ではありません。

この分科会では、ボランティアズムの原点回帰を目指したいと思  
います。

ボランティアが経済的側面からの評価をされてしまいがちな現  
状に疑問を投げかけ、ボランティアが持つ本来の価値をもう一度  
一緒に考えませんか。

※各分科会の会場は特に記載のない場合、飯田橋セントラルプラザ会議室です。



講義  
+  
話し合い

### 地域で生きる

22 ~ボランティアと考える知的にハンディ  
キャップのある方の地域支援とは~

生まれ育った街であたり前に暮らしていきたい。し  
かし、知的にハンディキャップのある方の生活は必ず  
しもそうではありません。

台東区で活動続けるほおずきの会は、今のような  
制度やサービスのない時代からハンディキャップのあ  
る方の暮らしを支えるためにボランティアが集まり、  
当事者と家族と一緒に活動を展開しています。

現在活動しているボランティア・家族・当事者た  
ちの声に耳を傾けながら、ボランティアとして今ど  
うのことのできるのか一緒に考えていきませんか？

日時：2月11日(金・祝) 14:00 ~ 17:30

定員：30名

おすすめ：ボランティア・障害者(児)支援に関心  
のある方ならどなたでも

講座形式：講義+話し合い

話し合い  
中心

### 「ボランティア=???'

23 ~ボランティアを考える あなたの大切  
な一言~

以前に増して、「ボランティア」という言葉を聞く機  
会は増えている。主に福祉の分野が中心だった頃  
からすると環境や国際交流、災害など活動が多様化し、参  
加する機会や場所も増えてきた。

しかし、それに伴って「ボランティア」という言葉の  
捉え方や扱われ方が広がっている。本来の「ボラン  
ティア」とはどのようなものが見えづらくなってきては  
いないだろうか。

そもそもボランティアって何?? 皆さんの声をも  
とに、一緒に考えてみましょう!

日時：2月12日(土) 10:00 ~ 12:00

定員：30名

おすすめ：関心のある方ならどなたでも

講座形式：話し合い中心

講義  
+  
話し合い

### ボランティア活動が生み出す 効果・意義を可視化する パートⅡ 24 ~日本版の可視化ツール(暫定版)の使い勝 手を高めるモニターになってみませんか!~

「ボランティアを受け入れていることの効果を上司  
や他のスタッフが分かってくれない」

「ボランティア募集時に活動の魅力伝える効果的  
な言葉は?」

「活動しているボランティアにその活動の効果を伝  
えて感謝したい」

ボランティアコーディネーター(ボランティア受け  
入れ担当者)の皆さん、あなたが「何となく」実感し  
ているボランティア活動の意義や効果を具体的な言葉  
にし、伝える方法を考えてみませんか?

この分科会は、昨年同テーマの分科会参加者や多  
くのボランティアと関わる関係者とともに作成した  
「効果・意義の可視化ツール(暫定版)」を使って、自  
分たちの活動の効果・意義について多面的に振り返  
ることにより、再確認や再発見を生む参加者同士の学  
び合いを行います。同時に、暫定版可視化ツールのバー  
ジョンアップも目指します。モニターとして日本版可  
視化ツールづくりに参画してみませんか!

日時：2月12日(土) 10:00 ~ 16:00

定員：30名

出演：村上徹也さん(市民社会コンサルタント)

協力：ボランティア活動が生み出す効果・意義を可視  
化する研究会

おすすめ：ボランティアを受け入れている組織・団体  
の受入担当者、ボランティアセンター・市  
民活動センターなど中間支援組織のボラン  
ティアコーディネーター、ボランティア活  
動者

講座形式：講義+話し合い



講義  
+  
話し合い

25

## ボランティア活動 ～私にもたらした変化～

ボランティア活動を経験して、「何か違う」「壁にぶつかった」そう感じている方のヒントに。ボランティア活動は何をもたらしてくれたのか、先輩方から「変化」を聞くほか、自分の変化を目指したワークショップを行います。

同カテゴリー『ボランティア=???』～ボランティアを考える あなたの大切な一言～と連続性を持たせた分科会です。

日時：2月12日(土) 17:00～19:30

定員：30名

出演：調整中

おすすめ：関心のある方ならどなたでも

講座形式：講義+話し合い

講義  
+  
話し合い

26

## ボランティア憲章をつくろう！

「新しい公共」の名の下、公共サービスが次々と市民組織へ委託されたり、事業型NPOがソーシャルビジネスなどに取り組んでいる今、あらためて真のボランティアリズムを確認する必要があるのではないのでしょうか。そこで、ボランティアや市民活動が守るべき原則的考え方を「憲章」の形に表して共有してみたいと思っています。

日時：2月13日(日) 13:00～16:00

定員：70名

出演：岡本栄一さん(西南女学院大学教授 前大阪ボランティア協会理事長)

三輪真之さん(計画哲学研究所所長 元早稲田大学客員教授)

おすすめ：ボランティア組織全般、NPO、個人ボランティア、学識者

講座形式：講義+話し合い

# 全体プログラム

※会場は特に記載のない場合、飯田橋セントラルプラザ会議室です。

講義中心

27

## オープニング全体会 「市民が創る公共～紡ぎあう地域の絆～」

「市民社会をつくるボランタリーフォーラム」の開催にあたり、実行委員がそれぞれのカテゴリーや分科会をどのような思いでつくってきたのか語ります。また、今回のテーマである「市民が創る公共」について問題提起をします。一緒にフォーラムのスタートを切りましょう。

日時：2月11日(金・祝) 13:00～13:45

定員：100名

おすすめ：ボランタリーフォーラムに参加するみなさん

講座形式：講義中心

29

## 交流会

3日間のフォーラムの最後を飾るプログラム。共に学び、議論した仲間と交流を深めましょう。また、今後の活動のために、ネットワークを広げるチャンスです。名刺交換はもちろん、案内やパンフレットの持ち込み大歓迎です。

日時：2月13日(日) 18:15～

定員：100名

参加対象者：ボランタリーフォーラムに参加したみなさん

\*このプログラムは、フォーラム参加費(1,000円)の他に、別途500円(18歳未満は300円・軽食代)が必要となります。

話し合い  
中心

28

## クロージング全体会

それぞれのカテゴリーや分科会で議論したことの報告と併せて、参加者それぞれが何を学び、何を感じたかを共有します。また、「市民が創る公共」についても考えます。

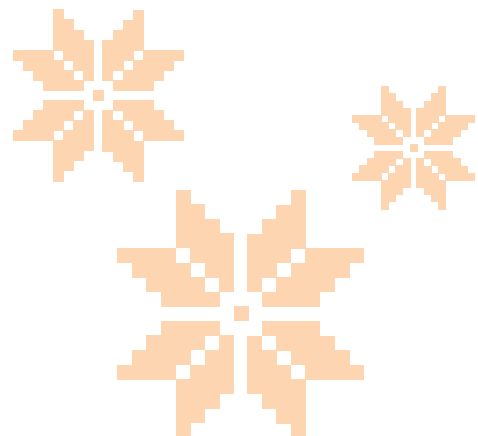
日時：2月13日(日) 16:30～18:00

アドバイザー：岡本栄一さん(西南女学院大学教授、前大阪ボランティア協会理事長)

山崎美貴子(東京ボランティア・市民活動センター所長、神奈川県立保健福祉大学学長)

参加対象者：ボランタリーフォーラムに参加したみなさん

講座形式：話し合い中心



# 特別プログラム

30

## メールアート展覧会 コラボ with 「背中の方こうに見えるもの」

ときたま（土岐小百合）さんは自作のコトバをハガキに印刷し出す活動を1993年から開始し、「ときたま」という名称で愛されています。「ときたま」を読んだ人からはいろいろな反応があり、それについておしゃべりをしたり、笑いが生まれることで、その場を少し居心地よくしたり、人と人のつながりが生まれたりします。ときたまさんの不思議な魅力やコトバの力で、現在もその輪はどんどん広がり、様々なコラボレーションが生まれています。

メールアートは郵便を使って作品を交換し合ったり、一緒に作品を作る芸術活動です。この展覧会は世界中に広がるメールアートのネットワークに呼びかけ、ブラジル、韓国、アメリカ、ドイツ、ネパールなど30カ国から、ときたまのコトバ「背中の方こうに見えるもの」とのコラボ作品が集まりました。

参加者はアーティスト、会社員、学生、4歳の子どもなどいろいろ、400人を超えます。絵を描いたり、写真をはったり、刺繍をしたり、様々な形の作品が一堂に会します。ぜひ、ご参加ください。

<http://www.tokitama.net/>

日時：2月11日（金・祝）～13日（日）

会場：東京ボランティア・市民活動センター ロビー

出演：ときたま（土岐小百合）

おすすめ：ボランティアフォーラム参加者のみなさん

\*このプログラムは、入場無料です。時間内にいつでも来場できます。

31

## みんなで手作りの『公共』MAPを 創ってみませんか？

今回のテーマである「市民が創る公共」には、たくさんの人と情報そして交流が不可欠です。

ボランティアフォーラムは、3日にわたり30以上の分科会が開催されます。その参加者全員がちょっとずつ力を合わせることができたら、どんなステキなものができるのでしょうか！

方法はとても簡単。大きな東京都の地図に、参加者が所属している団体やお勧めの場所を書いて貼るだけ。子どもを連れていくのにお勧めのカフェ、バリアフリーが整備されている公園、オーガニックレストランなどなど、お勧めポイントはなんでもかまいません。みなさんで、世界で一つしかない地図を作りましょう。

日時：2月11日（金・祝）～13日（日）

会場：東京ボランティア・市民活動センターロビー

おすすめ：ボランティアフォーラム参加者のみなさん

\*このプログラムは、入場無料です。時間内にいつでも来場できます。

32

## ふれあい満点市場 ～NPO・NGOの作品展示販売～

通販やインターネットで色々なモノが買えるようになった時代。あなたがお買おうとしているモノは作り手の顔や想いが見えますか？ 福祉作業所やボランティアグループ、海外協力の現場からサポートを必要とする人たちのために、また、必要とする人たち自らが作成した製品を展示販売します。

日時：2月12日（土）10:00～17:00

会場：飯田橋セントラルプラザ1階 区境ホール

協力：NPO法人VCAS、都立新宿山吹高等学校

\*このプログラムは、入場無料です。時間内にいつでも来場できます。

33

## Forum Open Space Cafe

お目当ての企画と企画までちょっと時間がある。

分科会の後も少し話したいなあ。

そんな時に気軽にお立ち寄りください。

みなさんがほっとする「居場所」となるべく、カフェをオープンします。

フリースペースのスタッフや若者がコーヒーを用意してお待ちしています。

日時：2月12日（土）、13日（日）

両日とも11:00～16:00

会場：東京ボランティア・市民活動センターロビー

協力：オープンスペース「liby（リビー）」

34

## 「想いをかたちに」出会いの広場 ～民間助成金相談～

ボランティア・市民活動団体にとって、活動の充実や発展のために助成金は重要な財源のひとつです。しかし、助成金申請をしてもなかなか獲得することができないという声も聞かれます。一方、助成団体の方からは、様々な団体の話を伺うことで多様な活動の様子や地域の課題について把握したいという希望も聞かれます。申請する側、助成を出す側が出会い、ゆっくり話してみませんか？ 民間助成金の情報も展示しています。

日時：2月12日（土）、13日（日）11:30～13:30

会場：東京ボランティア・市民活動センターロビー

定員：各日20団体

協力：東京都社会福祉協議会民間助成団体部会、ほか民間助成団体役職員のみなさん



## 参加費

### 1人 1,000円

※一度、お支払いいただければ、2月11日～13日の複数のプログラムにご参加いただけます。  
(当日払い。ただし、プログラムによって追加料金が必要な場合があります。)

※次のプログラムは入場無料です。

- ・メールアート展覧会 コラボ with 「背中の方こうに見えるもの」  
〔2月11日(金・祝)～13日(日)終日 東京ボランティア・市民活動センター ロビー〕
- ・「みんなで手作りの『公共』MAPを創ってみませんか？」  
〔2月11日(金・祝)～13日(日)終日 東京ボランティア・市民活動センター ロビー〕
- ・「ふれあい満点市場～NPO・NGOの作品展示販売～」  
〔2月12日(土)10:00～17:00 飯田橋セントラルプラザ1階 区境ホール〕
- ・「Forum Open Space Cafe」  
〔2月12日(土)、13日(日) 両日とも11:00～16:00 東京ボランティア・市民活動センター ロビー〕

※プログラム「交流会」は、参加費1,000円に加えて別途追加料金500円(18歳未満は300円、軽食代)が必要です。

## 申し込み方法

東京ボランティア・市民活動センター ホームページ

<http://www.tvac.or.jp/> からお申し込みください。

または、参加申込書(裏表紙)に必要事項をご記入の上、FAXまたは郵送のいずれかの方法でお申し込みください。

なお、参加希望が多数の場合、ご希望のプログラムにご参加いただけない場合もありますのでご了承ください。

※プログラムによっては内容を変更する可能性があります。(その場合、申し込みをされた方へ事前にご連絡します。)

※個人情報は東京ボランティア・市民活動センターが適切に管理し、NPO・ボランティアに関する研修等のご案内に使用させていただきます。個人情報の取り扱いに関する方針はホームページをご覧ください。

## ボランティア募集&保育スペース

開催期間中、保育、記録(写真撮影)などにご協力いただけるボランティアを募集します。

詳しくは2月1日(火)までに当センターへお問合せください。

※保育スペースを3歳以上に限り設ける予定です。保育の希望がある場合は1月28日(金)までに申込書にてお申し込みください。

## 会場案内

### 飯田橋セントラルプラザ

○アクセス

- ・JR総武線 飯田橋駅 西口改札右手
- ・地下鉄 有楽町線・東西線・南北線・大江戸線  
飯田橋駅 B2b出口

○総合受付

- ・飯田橋セントラルプラザ 10階



## 東京ボランティア・市民活動センターとは……

東京ボランティア・市民活動センターは、ボランティア・市民活動相談やNPOの設立、運営、会計相談、情報提供、研修、ネットワーキングに取り組んでいます。センターでは会議室や印刷機の利用貸し出しを行っています。また、ちょっとした打ち合わせにお使いいただけるオープン・スペースもあります。どうぞお気軽にご利用ください。

# 参加申込書 (FAX・郵送用)

## 市民社会をつくるボランティアフォーラム TOKYO 2011

ふりがな お名前		所属	
ご住所 〒 -		E-mail	
TEL ( )	FAX ( )	保育の希望 (いずれかに○)	1. あり ( 名) 2. なし

参加ご希望のプログラム名に○印をご記入ください。

開催日	時間	分科会 番号	プログラム名	希望
11日(金・祝) 午後	13:00～13:45	27	オープニング全体会 市民が創る公共～紡ぎあう地域の絆～	
	14:00～16:00	1	厳罰化社会からの転換～誰もが生きやすい、「寛容」な社会を目指して～	
	14:00～17:00	2	「意志あるおカネ」の活かし方ー市民ファンド・市民金融のいまとこれからー	
	14:00～17:30	8	「貧困」を乗り越える市民のチカラー新たなつながりを考えるーダッカ(バンラディシュ)と新宿を訪ねて見えたこと	
	14:00～17:30	22	地域で生きる～ボランティアと考える知的にハンディキャップのある方の地域支援とは～	
	14:30～16:30	16	若者による多様な Work Style～NPO 法人編～	
	14:30～17:30	9	「縁」をつくり、地域で孤立しない、させないために	
11日(金・祝) 夜間	17:00～19:00	3	犯罪加害者家族にも希望の光を～仙台で始まった新たな取り組み～	
12日(土) 午前	9:30～12:00	10	虐待のない地域を目ざして～子どもの笑顔を守るために私たちができること～	
	10:00～12:00	23	「ボランティア=??」～ボランティアを考える あなたの大切な一言～	
	10:00～12:00	17	いくつのワラジを履いている!?	
	10:00～12:30	11	自転車でつくる サステイナブルな都市生活 2011～そのⅠ：自転車活用を一層すすめるために～	
	10:00～12:30	15	災害から我が子を守る「地域社会とのつながり」づくり	
	10:00～16:00	24	ボランティア活動が生み出す効果・意義を可視化する パートⅡ ～日本版の可視化ツール(暫定版)の使い勝手を高めるモニターになってみませんか!～	
	11:30～13:30	34	「想いをかたちに」出会いの広場～民間助成金相談～ Ⅰ	
12日(土) 午後	13:00～16:00	13	人がつくる人の居場所	
	13:00～16:00	7	「新しい公共」のためのNPOと自治体のパートナーシップとは?	
	13:30～15:30	14	循環する庭づくり～スローライフを楽しむ～	
	13:30～17:00	12	自転車でつくる サステイナブルな都市生活 2011～そのⅡ：地域を再発見するポタリング～	
	14:00～17:00	18	育ちあう中学生の可能性	
12日(土)夜間	17:00～19:30	25	ボランティア活動～私にもたらした変化～	
13日(日) 午前	10:00～12:00	19	学生×ボランティア活動の概念化能力を考える～若者だからこそその「なう」な思いアウトプット～	
	10:00～13:00	20	NO VOLUNTEER NO FUTURE～高校生のアイデンティティー～	
	10:30～16:00	4	あたらしい公共を創る市民スタイル～協同労働の仕事おこしワークショップ～	
	11:30～13:30	34	「想いをかたちに」出会いの広場～民間助成金相談～ Ⅱ	
13日(日) 午後	13:00～15:00	5	パブリックアクセス制度を知っていますか?～メディアを変えることで、社会を変えよう～	
	13:00～15:30	6	育ち・育てのナショナルミニマムーどの子どもも健やかに育つための最低基準を考えようー	
	13:00～16:00	21	連携することの大切さ～心を聴くボランティアとして～	
	13:00～16:00	26	ボランティア憲章をつくろう!	
13日(日) 夜間	16:30～18:00	28	クロージング全体会	
	18:15～	29	交流会	

**[連絡・問合せ・申込先] 東京ボランティア・市民活動センター**

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 飯田橋セントラルプラザ10階

TEL 03-3235-1171 FAX 03-3235-0050 URL <http://www.tvac.or.jp>

\* ホームページからもお申込できます